

編集・発行／いたみ雅治事務所
〒411-0035 三島市大宮町3-14-15
Tel & Fax: 055-975-7896
https://m-itami.com/

ふるさと三島市を
もっと元気にするために
活動しています！

三島駅南口の再開発が本格化！

～交通の玄関口が、暮らしと健康の拠点へ～

三島市と静岡県が連携し進めている三島駅南口東街区再開発が、いよいよ本格化しています。令和7年度も県の予算に整備費が盛り込まれ、A～D棟の施設建築が着々と進行中です。この再開発では、**駅前の回遊性の向上・防災機能の強化・にぎわいの創出**を目的に、都市機能が大きく進化します。県としても、交通結節点の整備支援や地下水対策などの側面から、事業をしっかり後押ししています。

工期 令和6年4月～令和10年2月（予定）

令和7年度の事業費（A地区） 約19.2億円

三島駅南口東街区A地区 約1.2ha



現在の工事状況（令和6年7月時点）

A棟（24階建）：1階躯体工事中
B棟（6階建）：未着手
C棟（7階建）：基礎工事
D棟（10階建）：基礎工事

地下水と共存する、三島ならではの基礎構造

再開発では、三島ならではの**“水”と共存する都市基盤づくり**にも配慮しています。地盤調査や地下水の影響を踏まえ、杭を打たずに建物を支える「直接基礎」構造を採用。建物の基礎は最高地下水位でも水に触れないよう設計されており、国土交通大臣の認定も受けた安全性の高い構造です。また、地下水モニタリングは令和5年から24時間体制で実施されており、その結果は市のホームページでも公開されています。

健康と暮らしを結ぶ“健幸都市みしま”の新たなモデル

この再開発の中核には、順天堂大学医学部附属静岡病院が運営する「**高機能健診センター**」の導入が計画されています。駅直結という立地を生かし、地域の皆さんが通勤・通学・買い物のついでに気軽に健診を受けられる環境が整備されます。生活習慣病の早期発見や定期的な健康チェックを支える検査機能が導入予定です。今後は地元の医療機関としっかり連携しながら、**“予防”と“地域医療”をつなぐ役割を果たしていく拠点**となります。

現地視察



だみーだみーだみー

すべての学校に、頼れる“もう一人の大人”を

～教員の多忙化を防ぎ、子どもと向き合う時間を増やすために～

文部科学省の調査でも明かなように、全国的に教員の長時間勤務が深刻な課題となる中、静岡県では、**先生が本来の仕事である「子どもと向き合う教育活動」に専念できる環境を整える**ため、公立の小・中学校すべて（466校）に「**スクールサポーター**」を配置する事業を進めています。令和7年度は、「週20時間・年間35週」の勤務を基本とし、教員の業務支援にあたっています。

導入の成果

モデル実施校の検証では、**教員1人あたり1日で平均53分の業務時間削減**という具体的な成果が報告されました。これは、教材の印刷や提出物の整理、行事準備や消毒作業など、“教員でなくてもできる業務”をサポーターが担うことで、教員が授業準備や子どもとの関わりに集中できる時間を確保できるようになった結果です。

現場の先生方からの声

「教材研究の時間が確保でき、授業の質が上がった」
「担任が子どもと向き合う時間が増え、安心して学べる環境が整った」
「事務的な負担が軽減され、教職員全体の疲弊感が緩和された」

現場の声に
しっかり耳を傾けながら
こうした制度を
着実に支えてまいります



三嶋大社の歴史を、未来へつなぐ大修理

～文化財の価値を守り、次の世代へ～

市民の心のよりどころであり、静岡県を代表する重要文化財、三嶋大社。静岡県では令和5年度から9年度にかけて、本殿・幣殿・拝殿などの社殿を対象に保存修理事業を支援しています。この事業では、県が毎年度、文化財保存費として予算を確保し文化庁・三島市と連携しながら、歴史的建造物の持続的な保存に取り組んでいます。

修理中の社殿



主な補修内容

- 本殿・幣殿・拝殿の屋根（銅板葺）の葺き替え
- 木部や彫刻部の漆の塗り直し
- 経年劣化箇所の修復と耐久性向上対策
- 保存記録や修理履歴の専門的な記録管理

静岡食セレクションに認定！ 三島のヤマツ葉しょうが

静岡県では、地域の食文化や農産物の魅力を県内外に発信するため、**優れた食材を選定する制度「静岡食セレクション」**を実施しています。味・品質・ストーリー性に優れた県産品を県が公式に認定し、販路開拓やブランド力向上に向けた支援を行うもので、現在53品目（令和7年3月現在）が認定されています。香り高くみずみずしい「ヤマツ葉しょうが」は、三島の水と土と、地域農家のたゆまぬ努力によって育てられた逸品です。

